

ともに・・・

R7. 5. 13

自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成

「憲法のことばかりがわかりやすかったです」

～5年生の発表～

4月30日（水）、平和について考える全校集会がありました。この日は、5年生が日本国憲法について学んだことを短時間で発表します。

この本番を迎える一週間前のことでした。5年生の教室では、「平和集会に向けて、何が必要か話し合っ準備しよう」というめあてのもと、1年生にも発表内容がわかってもらえるようにするには何が必要かを考えているようです。説明するにあたり、事前に話し合っていた“学校の場面を劇風にすること”に加え、「大事な言葉も書いて提示しながら話すと、1年生にも伝わりやすいのではないか」というアイデアが出され、提示するものを準備することになりました。紙に、「太く・大きく・見やすく・きれいに」書くこととよいことをみんなで確認し、分担して作業を進めていきました。



さて、いよいよ本番。5年生は、憲法の三原則“国民主権”“基本的人権の尊重”“平和主義”のそれぞれについて、学校生活の場面に置き換えながらわかりやすく説明しています。“国民主権”では、みんなで遊ぶ場面を取り上げ、一人の意見だけで遊びを決めてしまう事例と、みんなの意見をきちんと取り上げ合意しながら遊びを決めていく事例を劇風にして示してくれました。そして、“太く・大きく・見やすく・きれいに”書かれた大事な言葉も提示しながらわかりやすく説明しました。



聴く側の子どもたちは、この5年生の劇を真剣な眼差しで見つめています。

集会の最後の感想発表では、「憲法は難しいけど、学校に例えていてわかりやすかったです」「演技で分かりやすく憲法のことを伝えていました。憲法の大切さが改めてわかりました」との声が、多くの子どもたちから寄せられました。

子ども自身が自ら全校にわかりやすく伝えたいという思いを出発にして、アイデアを出し合い、創りあげたすばらしい内

容でした。

自分たちで決めためあてが体现できる内容だからでしょう。体育館のステージに上がった5年生は、どの子も自信がみなぎり生き生きとした姿で発表し、輝いていました。

「あったー！！」～国語辞典を使おう～

5月8日（木）、3年生が国語の学習をしています。この日は、「国語辞典を使おう」という単元の初日のようです。

一人一冊ずつ辞典を手に取り、興味津々ページをめくっています。途中、算数で学んだ九九の表の記載を見つけたようで、「九九が載っている！」と嬉しそうに声をあげています。

いよいよ使い方の学習に入ります。先生が、「“ようふく”の言葉を見つけてみよう」と、子どもたちに投げかけます。どの子どもたちも、最初の文字の“よ”に目を向け、“よ”のページをすぐに開いています。



次に“よう”を探すように先生が声をかけます。“う”の文字のみに着目し、あ行の“う”を開く子もいますが、

先生が、“よう”を見るように声をかけると、改めてページを開いています。どの子も“よう”が見つかったと、さらに“ようふ”と一文字ずつ増やして探していきます。

国語辞典を使うのは初めての子どもたち。まだ、『あいうえお順で文字を探していく』ことには気づいていないため、目的の言葉にはすぐにはたどり着けません。しかし、何とか見ようと誰一人あきらめることなく探しています。時間をかけて探していく中で、「あったー！！」と、“ようふく”の文字をようやく見つけることができ、歓喜の声があがります。

その後、この授業のポイントの『あいうえお順で文字を探していく』ことを確認しました。

この国語辞典の学習において、はじめから教師が『あいうえお順で文字を探していく』という辞典の使い方を説明しその通りにさせていくのではなく、子どもが辞典を自分なりに使ってみる経験も大事にしました。子どもたちは、目的の言葉を探す大変さを経験する中で、よりよい探し方『あいうえお順で文字を探していくとよい』ことが、より実感として捉えられたことでしょう。

別の言葉も探す中で、再び「あったー！！」の音が教室に響いていました。

先日、地域の方が学校に寄ってくださいました。

その折に、「子どもが経験し、感じたり考えたりすることが学びには必要である。大人は良かれと思ってお膳立てしてしまいがちになるが、大人は少し下がって子どもたちに任せてみることも大事である」とお話しくださいました。このことは、まさに本校が大事にしたいと考えていることであり、大変ありがたく受け止めています。

毎時間の中で実現していくよう努めていきたいと思っています。